

APPEAL

発行 者
JR 東海 労 関 西 地 本
大 阪 台 車 検 査 車 両 所 分 会
2017年 2月8日
NO. 89

N700系GK WN破損! ?

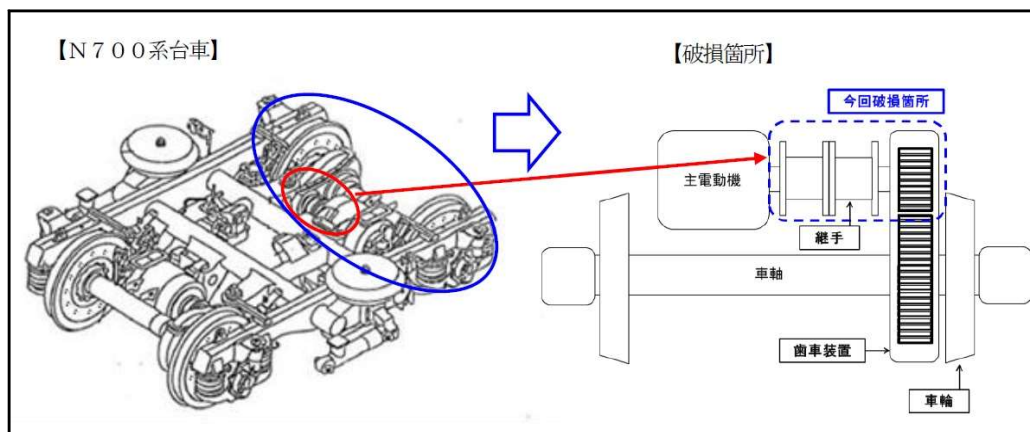
新聞報道等によると、「2017年1月25日午後5時10分ごろ、山陽新幹線の小倉一博多間で、東京発博多行き「のぞみ31号」が異音を感知して緊急停止した。車両への異常の有無を確認するため、同区間の運転が約1時間見合わされた。」との報道がありました。

またJR西日本によると

「原因は11号車にあるモーターの回転を車輪に伝達するための歯車が入った装置の一部が破損したためと考えられます。破損した原因については今後詳細に調査し、再発防止に努めてまいります。」

※注釈 線路上で破損した装置の一部を発見し拾得しました。

※注釈 拾得物はシム（部品同士の間隙を調整する部品）、ボルト、座金など21点、総重量は約167.6グラムです。



「他山の石」 それとも 「他人事」 ?

今回起きた事故は、一歩間違えば大惨事となりかねない事故です。山陽新幹線でN700系車両もJR西日本所属の車両ですが、JR東海においてもN700系車両は同様の構造を持っており、決して「他人事ではない」と思います。特に台検では1月31日と2月1日に総点呼が行われましたが、所長をはじめ管理者からも何ら報告なり注意喚起は行われませんでした。原因が特定されていない中で詳細が分からないとしても、同様の構造を持つ台車に携わる者として、「他山の石」として知っておかなければならない事象ではないでしょうか？

JR東海労本部は原因究明と再発防止のため速やかに申し入れを行っています。